

弘法大師著作研究会

○平成八年度は九月に『定本弘法大師全集』第八卷（『性靈集』十卷、『拾遺雜集』）、平成九年三月に第六卷（『文鏡秘府論』、『文筆眼心抄』）、第十卷（索引）を刊行し、首巻を含めた全十一巻が無事完結した。中でも、神戸女子大学文学部教授林田慎之助氏の編集担当になる第六巻は、本文の厳密な校訂に加えて、画期的ともいえる一字索引が今後の研究者にとっての有益度を増すであろう。第十巻は第一巻から第五巻、第七巻、第八巻の本文部分の索引で、コンピュータ処理のため、要語索引に項目がある限り漏脱はない。但し、処理上の便宜をはかって要語の配列を部首別画数順としたのは、当初は若干不便を感じるかも知れない。

○弘法大師著作研究会は刊行事業の終了に伴い、平成九年七月九日の解散式を行って閉室した。その後の残務は研究所事務室に引き継がれている。これまで御支援をいただいた会員諸氏、聖教・資料の調査・閲覧、翻刻・掲載の御協力並びに便宜をお計らいいただいた関係各位に、深く感謝の意を表わしたい。

平成八年度研究所活動報告

研究会

平成八年度に発足した共同研究「弘法大師の思想とその展開に関する研究会」は、山陰・佐藤・村上・武内・南各所員に高木所長を統括に加え、四月二十六日・五月十四日・同二十九日の三回に亘って研究テーマの絞りこみと

各所員の分担課題を討議した。その結果、基本テーマが極めて広範囲であることから、今後二年間の研究テーマとしては「弘法大師の思想の形成」を主題に居え、各分担者の個別研究に入った。平成八年度は前記の三回の他、四回の研究会が開催された。発表者と題目は次の通り。

平成8年11月26日 佐藤正伸「奈良時代の密教について」

12月11日 山陰加春夫「空海と奈良末・平安初期の社会」

平成9年1月21日 村上保壽「奈良朝仏教の研究に関連して」

2月18日 南 昌宏「空海の中国古典理解」

一方、平成八年度は準備期間ながら、平成九年度にスタートする「密教の形成と流伝に関する研究会」は高木所長・森・生井・乾・奥山・室寺各所員をメンバーとし、五月七日・同十六日・六月六日の三度会合を行って、個々の分担課題を決定した。この年度には、テーマの関連性から、十二月四日に来日中のフランス、インド・南アジア研究センターのジェラルド・コラ博士を招き、「ヴァイシユラヴァ・ヴァイカーナサ派の中世の文献に見られるダイクシャヤーの概念」と題する特別研究会を開催した。

平成八年度研究所教員研究業績

高木 諄元

○著書

『空海—生涯とその周辺』 吉川弘文館 一九九六年四月 二七七頁

○論文

「東国の化主道忠と天台法華宗」 『高野山大学創立百十周年記念 高野山大学論文集』 一九九六年十月 二三一—四一頁

「祖師伝の律令的考察(二) —空海の出家にかかわる二種の官符について

—」 『密教学研究』二九 一九九七年三月

山陰加春夫

○著 書

『中世高野山史の研究』 清文堂出版 一九九七年一月 三二二頁

○論 文

『御室御所高野山御参籠日記』にみえる仏事』 『高野山大学創立百周年記念 高野山大学論文集』 一九九六年九月 一〇八―一二八頁
 『高野合戦』攻―鎌倉末期政治史の一齣―(一)』 『高野山大学密教文化研究所紀要』一〇 一九九七年一月 一九―三六頁

佐藤 正伸

○著 書

『「法界ソリヤ法」について』 『高野山大学創立百周年記念 高野山大学論文集』 一九九六年九月 三七―六一頁
 『浄三業について』 『密教文化研究所紀要』一〇 一九九七年一月 三七―六一頁

○その他

『高野山七弁天』 『高野山大学学報』三六 一九九六年七月 一三一―七頁
 『祈祷』 『日本の仏教』六(共著) 法蔵館 一九九六年八月 八四―八八頁

森 雅秀

○著 書

『マンダラの形態の歴史の変遷』 『マンダラ宇宙論』(立川武蔵編) 一九九六年九月 一四三―一七三頁
 『完成せるヨーガの環』第11章『ヴァジュラフーンカーラ・マンダラ』 『訳およびテキスト』 『高野山大学創立百周年記念 高野山大学論文集』

一九九六年九月 101―124頁

『完成せるヨーガの環』の成立に関する一考察』 『密教図像』一五

一九九六年一〇月 二八―四二頁

『オリッサ州立博物館の密教美術』 『高野山大学密教文化研究所紀要』

一〇 一九九七年一月 29―70頁

『ペンコルチャーデ仏塔第五層の『金剛頂経』所説のマンダラ』 『チベット

仏教図像研究―ペンコルチャーデ仏塔(国立民族学博物館研究報告別冊

一八)』(立川武蔵・正木晃編) 一九九七年三月 二六九―三一八頁

○口頭発表

『インド密教におけるマンダラと儀礼』 名古屋大学文学部公開フォーラ

ム「密教と美術」 一九九七年三月

○その他

『ペンコルチャーデ仏塔図版一覧、塔内概念図および図版』(共著) 『チベット仏教図像研究―ペンコルチャーデ仏塔(国立民族学博物館研究報告別冊一八)』(立川武蔵・正木晃編) 一九九七年三月 五―二五頁

村上 保壽

○著 書

『諸仏・大師讃歎経』 高野山出版社 一九九六年一月 一二二頁(折

本)

○論 文

『空海と道家思想』 『高野山大学創立百周年記念 高野山大学論文集』 一九九六年九月 四三―六五頁
 『空海の思想と曼荼羅』 『高野山大学密教文化研究所紀要』一〇 一九九七年一月 一―一八頁
 『古代律令国家と空海の距離』 『密教文化』一九七 一九九七年三月 一一―八頁

生井 智紹

○著 書

『真言門より行を行ずる菩薩』 『高野山大学創立百十周年記念 高野山

大学論文集』 一九九六年九月 163—180頁

『輪廻の起動因—Pramanavartika II、184,190について—』 『印度学

仏教学研究』 四五—二 一九九七年三月 八八—八九四頁

武内 孝善

○著 書

『寛平法皇御作次第集成』 東方出版 一九九七年二月 六六四頁

○校訂・解説

『定本弘法大師全集』 第八卷 (『遍照發揮性靈集』 『拾遺雜集』) 一九九

六年九月 四四七頁

○翻 刻

『僧申文』の研究 翻刻篇(一)・東寺観智院金剛藏本—』 『高野山大学

密教文化研究所紀要』 第十号 一九九七年一月 六三—一五七頁

○論 文

『延暦の遣唐使をめぐる一・二の問題』 『高野山大学大学院紀要』 創刊

号 一九九六年三月 一—三三頁

『三業度人の制をめぐる一・二の問題』 『高野山大学創立百十周年記念

論文集』 一九九六年九月 八五—一〇八頁

『弘福寺別当について』 『宗教研究』 七〇—四 一九九七年三月 二〇

五—二〇六頁

○口頭発表

『弘福寺別当について』 日本宗教学会第五回學術大会 一九九六年九

月

『理趣經』付加句の付加年代をめぐって』 平安仏教研究会 一九九六

年十二月

乾 仁志

○論 文

『初会金剛頂經』所説の四印について』 『密教学研究』 二八 一九九

六年三月 13—34頁

『初会金剛頂經』の四大品とマンダラの特徴』 『高野山大学創立百十

周年記念 高野山大学論文集』 一九九六年九月 81—100頁

『初会金剛頂經』所説のマンダラ(後)』 『高野山大学密教文化研究所

紀要』 一〇 一九九七年一月 1—28頁

『金剛頂タントラ』所説のマンダラ(一)』 『高野山大学論叢』 三二

一九九七年二月 1—30頁

奥山 直司

○著 書

『釈尊絵伝』〔図解〕 学習研究社 一九九六年四月 一二七頁

『チベット(マンダラの国)』 小学館 一九九六年六月 一二七頁

○論 文

『ラサーマンダラ都市』 『マンダラ宇宙論』(立川武蔵編・法蔵館)

一九九六年六月 二四七—二七〇頁

『釈尊絵伝』 絵引索引(一)』 『高野山大学創立百十周年記念 高野山

大学論文集』 一九九六年九月 67—79頁

『釈尊絵伝』 絵引索引(二)』 『高野山大学密教文化研究所紀要』 一〇

一九九七年一月 71—84頁

室寺 義仁

○論 文

「誕生(再生)の定型表現を巡る仏教徒の諸伝承」 『高野山大学創立百周年記念 高野山大学論文集』 一九九六年九月 181-196頁

○その他
「仏教における生死観と儀礼」 『生命倫理講座講義録 生と死 その種々相』 (高野山大学生命倫理研究会編) 一九九七年三月 一八七-二一四頁

南 昌宏
○論文

「『四庫全書総目提要』における『爾雅』評価の考察」 『高野山大学創立百周年記念 高野山大学論文集』 一九九六年九月 二〇一-二二二頁

平成八年度寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換誌は平成八年四月より平成九年三月末までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には篤く御礼申し上げます。当研究所の一層の図書充実のために今後とも御協力と御支援をお願い申し上げます。

- 石山寺資料叢書 史料篇第一 石山寺文化財総合調査団編 (法蔵館 平成8年9月) 石山寺殿
- 石山寺資料叢書 文学篇第一 石山寺文化財総合調査団編 (法蔵館 平成8年9月) 石山寺殿
- インド学チベット学研究 第一号 神子土恵生編 (龍谷大学文学部インド哲学研究会 平成8年3月) 編者殿
- 多入高野独案内 日野西真(定)編著

○演劇の「近代」 近代劇の成立と展開 (高野山持明院 昭和58年) 甲田博史殿

○中央大学人文科学研究所研究叢書14 (中央大学出版部 平成8年3月) 編者殿

○大倉邦彦旧蔵目録(和書) 大倉精神文化研究所附属図書館編 (大倉精神文化研究所 平成4年3月) 編者殿

○大山公淳先徳聞書集成 第三卷 大山公淳和尚報恩刊行会編 (東方出版 平成8年7月) 編者殿

○おやさと研究所五十年誌 天理大学おやさと研究所編 (天理大学おやさと研究所 平成9年1月) 編者殿

○環境コスモロジーを求めて―人・都市・倫理― 環境コスモロジー研究会編 (天理大学おやさと研究所 平成8年3月) 編者殿

○吉備町誌 上・下 吉備町誌編纂委員会編 (和歌山県吉備町 昭和55年3月) 甲田博史殿

○空海(生涯とその周辺) 高木評元著 (吉川弘文館 平成9年4月) 著者殿

○空海関係図書目録 香川県立図書館編 (香川県立図書館 平成6年3月) 武内孝善殿

○空海色紙揮毫宝典 飯島太千雄編 (東京堂出版 平成9年1月) 編者殿

○ケルト 生と死の変容(中央大学人文科学研究所研究叢書16) 中央大学出版部 平成8年7月 編者殿

○現代ヨーロッパ文学の動向 中心と周縁 (中央大学人文科学研究所研究叢書15) 中央大学出版部 平成8年3月 編者殿

○中央大学人文科学研究所編 (中央大学出版部 平成8年3月) 編者殿

○高野山大学論叢 第三卷 高野山大学編

(高野山大学 平成9年2月) 編者殿

○高野山大学論文集(高野山大学創立百十周年記念)

高野山大学創立百十周年記念論文編集委員会編

(高野山大学 平成8年9月) 編者殿

○(第一七回)高野山大宝蔵展—高野山の如來像— 高野山靈玉館編

(高野山靈玉館 平成8年7月) 編者殿

○金剛頂経形成の研究(堀内寛仁論集 下) 堀内寛仁著

(法蔵館 平成8年12月) 著者殿

○金剛頂経の研究(堀内寛仁論集 上) 堀内寛仁著

(法蔵館 平成8年12月) 著者殿

○(新訳梵文仏典)金剛般若波羅蜜経 一—五 如実仏学研究室編著

(台北・如実出版社 95年8月—96年7月) 編著者殿

○(佼成別冊)「信教の自由」と「政教分離」—「宗教法人法」改正を問う

立正佼成会・「宗教法人法」改正問題対策本部編

(佼成出版社 平成8年1月) 中央学術研究所殿

○(真言宗各派第一回同和研修会基調講演・パネルディスカッション)

施陀羅問題について 同和問題に関する真言宗四宗派連絡協議会編

(同和問題に関する真言宗四宗派連絡協議会 平成4年6月)

○(真言宗各派第四回同和研修会基調講演) 部落解放運動における宗教者の

役割—今なにが問われているか— 小森龍邦述

(同和問題に関する真言宗四宗派連絡協議会 平成6年5月)

○(真言宗各派第五回同和研修会基調講演) 差別表現と意識 池田土郎述

(同和問題に関する真言宗四宗派連絡協議会 平成7年5月)

高野山真言宗同和局殿

○神道古典研究所紀要 第二号 神道古典研究所編

(神道大系編纂会 平成8年3月) 編者殿

○『親鸞聖人伝説』講話(光華叢書1) 細川行信著

(光華女子大学・短期大学真宗文化研究所 平成8年3月) 発行者殿

○人權啓発推進資料10(人權啓発作品集・一九九四年度)

(高野山真言宗教学部・同和局 平成7年5月) 発行者殿

○人權啓発推進資料12(人權啓発推進員研修会講演録「宗教と人權」)

村上保壽述 (高野山真言宗同和局 平成8年3月) 発行者殿

○人權啓発推進資料13(人權啓発作品集・一九九五年度)

(高野山真言宗教学部・同和局 平成8年4月) 発行者殿

○施陀羅—餌取法師の語源— 林 久良著

(平成4年3月) 武内孝善殿

○「施陀羅問題」をめぐる—真言宗智山派見解—

真言宗智山派同和推進本部編 (真言宗智山派宗務庁 平成5年3月) 高野山真言宗同和局殿

○大覚寺聖教目録 嵯峨美術短期大学総合美術研究所編

(大覚寺 平成4年11月) 編者殿

○大乘の至極 浄土真宗(国際真宗学会第6回報告)

大谷大学真宗総合研究所国際仏教研究班編

(大谷大学真宗総合研究所 平成7年12月) 編者殿

○(京都)大蔵会展観目録索引(第1—50回) 仏教大学図書館編

(仏教大学図書館 平成8年3月) 編者殿

○(第81回)大蔵会展観目録(浄土教と平安写経・七寺の世界)

華頂短期大学編 (京都各宗学校連合会 平成9年2月) 編者殿

○中世高野山史の研究 山陰加春夫著

(清文堂出版 平成9年1月) 著者殿

○チベット密教の瞑想法 ゲシエー・ソナム・ギャルツェン・ゴンタ著

- 定本弘法大師全集 第八卷 弘法大師著作研究会編
(高野山大学密教文化研究所 平成8年9月) 編者殿
- 天理用語とその風土 石崎正雄著
(天理大学おやさと研究所 平成8年3月) 発行者殿
- 〈シンポジウム〉東西の生死観 仏教大学総合研究所編
(法蔵館 平成7年12月) 編者殿
- 同和・人権推進資料8 〈同和局開設十周年記念人権啓発シンポジウム・真言宗における人権啓発〉
(高野山真言宗同和局 平成5年11月) 発行者殿
(高野山真言宗同和局 平成5年11月) 編者殿
- 日本史学文献目録 〈一九九三年版〉 学術文献刊行会編
(朋文出版 平成7年7月) 編者殿
- 拔萃のつゝり 〈その56〉 熊平製作所編
(熊平製作所 平成9年1月) 編者殿
- 東アジアの村落と家族 〈シンポジウムの記録〉 仏教大学総合研究所編
(仏教大学総合研究所 平成8年8月) 編者殿
- 風習喜劇の変容 王政復古期からジェイン・オーステインまで
〈中央大学人文科学研究所研究叢書13〉 中央大学人文科学研究所編
(中央大学出版部 平成8年3月) 編者殿
- 仏教学報 第32輯 (韓文) 東国大学校仏教文化研究院編
(東国大学校仏教文化研究院 95年12月) 編者殿
- 密教学会報 第23〜35号 高野山大学密教学会編
(高野山大学密教学会 昭和59年3月〜平成8年3月) 編者殿
- 湯浅町誌 湯浅町誌編纂委員会編
(和歌山県湯浅町役場 昭和42年5月) 甲田博史殿
- 霊友会史 (一) 下巻 霊友会史編纂委員会編
(霊友会 平成8年11月) 発行者殿
- Oyasato Research Institute Terri University. *Terri Journal of Religion* : No. 24 Terri : Terri University Press, 1996. 発行者殿
- Michael Arts, *Yig-smed-gling-pa's "Discourse on India" of 1789, A Critical Edition and Annotated Translation of the lHo-phyogs rgye-gar-gyi gran brtag-pa bgyud-kyi me-long*. Studia Philologica Buddhica Occasional Paper Series IX. Tokyo : The International Institute for Buddhist Studies, 1995. 発行者殿
- Herbert Guenther, *The Full-Fledged Khyung-chen Bird. An Essay in Freedom as the Dynamics of Being*. Studia Philologica Buddhica Occasional Paper Series X. Tokyo : The International Institute for Buddhist Studies, 1996. 発行者殿
- International Research Center for Japanese studies, *Nichibunken Japan Review* : No.7. Kyoto : The International Research Center for Japanese Studies, 1996. 発行者殿
- Revista de Estudios Budistas, *Revista de Estudios Budistas* : No.11. Buenos Aires : Asociacion Latinoamericana de Estudios Budistas, 1996. 発行者殿
- Ruben L.F.Habito, *Originary Enlightenment, Tendai Hongaku Doctrine and Japanese Buddhism*, Studia Philologica Buddhica Occasional Paper Series XI. Tokyo : The International Institute for Buddhist Studies, 1996. 発行者殿
- 交換寄贈雑誌
- 1 愛知学院大学大学院文学研究科文研会紀要 〈第8号〉
愛知学院大学大学院文学研究科文研会 (同会・平成9年3月)
 - 2 あふひ・AOI 〈第2号〉
京都産業大学日本文化研究所編 (同研究所・平成8年9月)
 - 3 アジア・アフリカ文化研究所研究年報 〈第30号〉 (一九九五年度)

- 4 東洋大学アジア・アフリカ文化研究所編 (同研究所・平成8年3月)
アジア研究所紀要 (第22号)
- 5 亜細亜大学アジア研究所編 (同研究所・平成8年3月)
亜細亜大学日本文化研究所 (第2号)
- 6 叡山学院研究紀要 (第19号) 叡山学院編 (同学院・平成8年12月)
大倉山夏季公開講座 (平成7年度)
- 7 大倉山論集 (第39輯、第40輯)
大倉山論集 (第39輯、第40輯)
- 8 大倉山論集 (第39輯、第40輯)
大倉山論集 (第39輯、第40輯)
- 9 大谷大学真宗総合研究所研究紀要 (第13号)
大谷大学真宗総合研究所編 (同研究所・平成8年3月、12月)
- 10 九州大谷研究紀要 (第23号)
九州大谷学会編 (九州大谷短期大学内九州大谷学会・平成9年3月)
- 11 教化研修 (第39号) 曹洞宗教化研修所編 (同研究所・平成8年3月)
- 12 京都産業大学日本文化研究所紀要 (創刊号)
京都産業大学日本文化研究所編 (同研究所・平成8年3月)
- 13 京都女子大学宗教・文化研究所研究紀要 (第9号)
京都女子大学宗教・文化研究所編 (同研究所・平成8年3月)
- 14 紀州経済史文化史研究所紀要 (第16号)
和歌山大学紀州経済史文化史研究所編 (同研究所・平成8年3月)
- 15 光華女子短期大学研究紀要 (第34集)
光華女子短期大学編 (同短期大学・平成8年12月)
- 16 光華女子短期大学研究紀要 (第34号)
光華女子短期大学編 (同短期大学・平成8年12月)
- 17 皇学館大学神道研究所紀要 (第12輯)
皇学館大学神道研究所編 (同研究所・平成8年3月)
- 18 高野山大学院紀要 (創刊号)
高野山大学院文学研究科編 (同文学研究科・平成8年3月)
- 19 国際シンポジウム (第6、8集) 国際日本文化研究センター編
(同センター・平成7年7月、平成8年3月)
- 20 国際日本文学研究集會會議録 (第19回 (一九九五))
国文学研究資料館編 (同資料館・平成8年10月)
- 21 国士館大学文学部人文学会紀要 (第29号)
国士館大学文学部人文学会編 (同会・平成8年10月)
- 22 嵯峨美術短期大学紀要 (第21号)
嵯峨美術短期大学編 (同大学・平成7年12月)
- 23 商業史研究所紀要 (第4号)
大阪商業大学商業史研究所 (同研究所・平成8年8月)
- 24 真宗文化 (第5号)
光華女子大学・光華女子短期大学真宗文化研究所編
(同研究所・平成8年7月)
- 25 城西大学国際文化研究所紀要 (第2号)
城西大学国際文化研究所編 (同研究所・平成8年8月)
- 26 人文研紀要 (第25号、第26号)
中央大学人文科学研究所編 (同研究所・平成8年9月)
- 27 西山学报 (第44号) 西山短期大学編 (同短期大学・平成8年6月)
- 28 中央学術研究所紀要 (第25号)
中央学術研究所編 (同研究所・平成8年12月)
- 29 中央大学人文科学研究所年報 (第17号 (一九九五))
中央大学人文科学研究所編 (同研究所・平成8年3月)
- 30 筑紫女学園短期大学紀要 (第32号)
筑紫女学園短期大学編 (同短期大学・平成9年1月)
- 31 筑紫女学園大学紀要 (第9号)

- 32 筑紫女学園大学編(同大学・平成9年1月)
智山学报(第44、45輯) 大正大学真言学智山研究室編
(智山勸学会・平成6年3月、平成7年3月)
- 33 天台学报(第38号) 天台学会編(同学会・平成8年11月)
天理教学研究(第34号)(教祖百十年祭記念号)
- 34 天理大学宗教学研究所編(同研究室・平成8年6月)
天理大学おやさと研究所年報(第2号)(一九九五)
- 35 天理大学おやさと研究所編(同研究所・平成8年3月)
東京成徳大学研究紀要(第3号)
- 36 東京成徳大学編(同大学・平成8年3月)
東京大学史料編纂所研究紀要(第6号)
- 37 東京大学史料編纂所編(同編纂所・平成8年3月)
東京大学史料編纂所報(第30号)(一九九四年度)
- 38 東京大学史料編纂所編(同編纂所・平成8年3月)
東京立正女子短期大学紀要(第23号)
- 39 東京立正女子短期大学編(同大学・平成8年6月)
東西南北(一九九六)
- 40 和光大学総合文化研究所編(同研究所・平成8年3月)
東北学院大学東北文化研究所紀要(第3、8、10、13、16、29号)
- 41 東北学院大学東北文化研究所編(同研究所・昭和46年4月、平成9年2月)
東北大学文学部附属日本文化研究施設編
- 42 東北大学日本文化研究所報告(第32集)
東洋学論叢(21、印度哲学科篇:里道徳雄追悼号)
- 43 東洋学論叢(21、印度哲学科篇:里道徳雄追悼号)
東洋大学文学部編(同文学部・平成8年3月)
- 44 東洋大学中国哲学文学科紀要
- 45 第4号、東洋大学文学部紀要第49集、中下正治教授退任記念号
東洋大学文学部中国哲学文学科編(同文学部・平成8年3月)
東洋の思想と宗教(第12号) 早稲田大学東洋哲学会編(同学会・平成8年3月)
- 46 同朋大学仏教文化研究所紀要(第16号)
同朋大学仏教文化研究所編(同研究所・平成9年1月)
- 47 成田山仏教研究所紀要(第19号)
成田山仏教研究所編(同研究所・平成8年3月)
- 48 日文研(第14号、第15号) 「日文研」編集委員編
(国際日本文化研究センター・平成7年2月、7月)
- 49 日本研究(第13、15集) 国際日本文化研究センター編
(同センター・平成8年3月、7月、12月)
- 50 日本研究(京都會議)(一九九四)1、4 国際日本文化研究センター編
(同センター・平成8年3月、7月、12月)
- 51 日本語と日本語教育(第24号)
慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター編
(同センター・平成8年3月)
- 52 比較文化(第10号)
中央学院大学比較文化研究所編(同研究所・平成8年3月)
- 53 福井県立大学論集(第8号、第9号)
「福井県立大学論集」編集委員会編
(福井県立大学・平成8年2月、7月)
- 54 仏教学会報(第20号)
高野山大学仏教学研究室編(同研究室・平成8年1月)
- 55 仏教学研究(第52号) 龍谷仏教学会編(同学会・平成8年2月)
- 56 仏教研究(第25号) 国際仏教徒協会編(同協会・平成8年3月)
- 57 仏教大学総合研究所紀要(第3号、第3号別冊、第4号)

- 58 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書 (同研究所・平成8年3月、平成9年3月)
 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書 (第26冊)
- 59 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書 (同研究会・平成8年1月)
 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書 (画像蒐成4)
- 60 仏教文化 (第36号) 東京大学仏教青年会編 (同青年会・平成8年11月)
 仏教文化論集 (第7輯、川崎大師教学研究所紀要)
- 61 川崎大師教学研究所編 (川崎大師平間寺・平成7年12月)
- 62 平和と宗教 (第15号)
 庭野平和財団平和研究会編 (庭野平和財団・平成8年11月)
- 63 北陸宗教文化 (第8号) 北陸宗教学会編 (同学会・平成8年3月)
 密教学 (第13号、22号)
- 64 種智院大学密教学会編 (同学会・昭和52年10月、昭和61年3月)
- 65 密教学 (第32号) 種智院大学密教学会編 (同学会・平成8年3月)
- 66 密教学研究 (創刊、12、14、20、22、28号)
 日本密教学会編 (昭和44年3月、平成8年3月)
- 67 密教文化 (第184、194号)
 高野山大学密教学研究会編 (同研究会・平成6年2月、平成8年3月)
- 68 民具マンスリー (第29巻、1号、10号)
 神奈川大学日本常民文化研究所編 (同研究所・平成8年4月、平成9年1月)
- 70 龍谷史壇 (第105、106 二葉憲香先生追悼号)
 龍谷大学史学会編 (同学会・平成8年1月、3月)
- 71 龍谷大学仏教学研究室年報 (第9号)
 龍谷大学仏教学研究室編 (同研究室・平成8年3月)
- 72 立正大学人文科学研究所年報 (第33号、別冊第10号)
 龍谷学会編 (同学会・平成8年12月)

73 歴史と民族 (13)
 立正大学人文科学研究所編 (同研究所・平成8年3月)

74 論叢アジアの文化と思想 (第2、5号) アジアの文化と思想の会編
 (早稲田大学文学部東洋哲学研究室内アジアの文化と思想の会・平成5年11月、平成8年12月)

平成九年密教文化研究所だより

○共同研究「弘法大師の思想とその展開に関する研究会」は、今年度は学外から星宮智光(聖母女学院短期大学国際文化学科学科教授)・山下幸男(相愛大学人文学部助教授)・大久保良峻(早稲田大学文学部助教授)の三氏をお迎えし、十二月までに八回の研究会を重ねた。年度内に更に二・三回の研究会を開催して研究期間を終わり、来年度中にその成果を公表する予定である。

○今年度から研究期間に入った共同研究「密教の形成と流伝に関する研究会」は、学外から山下博司(東北大学言語文化部助教授)・野口圭也(種智院大学仏教学部講師)・大塚伸夫(大正大学人間学部講師)の三氏を加え、十二月までに五回の研究会を開催している。この中には一昨年のジェラルド・コラ博士(フランス)に続き、特に研究メンバー以外のスニタナンド比丘(バングラデシユ、アジア協会研究員)と永ノ尾信悟博士(東京大学東洋文化研究所教授)による研究報告も含まれている。この研究会では来年度までを研究期間とし、平成十一年度はその成果を公表することになっている。

○高木諄元所長は昨年十二月、ローマ教皇庁国連大使主催の「宗教心と現代人」と題する会議に出席した。この会議はミラノ・カトリック大学教授モンシニョール・ルイジ・ジュッサーニ神父の著書『宗教心』の英訳本出版を機に開かれたもので、同神父と十年來継続して来た交流と対話の歴史を評価され、教皇庁国連大使からの招待を受けた。十二月十一日午後三時半（現地時間）から約二時間、ニューヨークの国連本部で開催された会議では、高木所長は仏教学者の立場から三十分間の講演を行い、各国大使・ジャーナリスト・カトリック聖職者・教育関係者等、約二百五十人の聴衆に深い感銘を与えた。翌十二日にはワシントンのアメリカ・カトリック大学において、午後七時半から約一時間半、「現代文化における宗教意識・対話への新しい可能性は？」と題するテーマのもと、仏教学者の立場から発表、カトリック聖職者・大学関係者・学生等約二百人が聴講した。十三日はニューヨークに戻り、カトリックセンターで信徒七十人との対話集会に出席した。

○当研究所の専従研究所員である森雅秀文学部講師が、平成九年（一九九七）十月三十一日付けで、Ph D (Doctor of Philosophy) の学位をロンドン大学 (University of London) から授与された。学位請求論文は“The Vajravai of Abhayakaragupta”である。

○北原裕全専任研究員はインド政府奨学金・高野山勸学財団奨学金により、平成九年八月からインド・プーナ大学に留学している。約二年間の予定で、プーナ大学では V. N. Ma 博士を指導教授に、サンスクリット高等研究所に所属、研究に励んでいる。

密教文化研究所構成員名簿 (平成九年十二月現在)

所長 高木 諄元 (文学部教授)
 専従研究所員 山陰加春夫 (文学部教授)
 〃 佐藤 正伸 (文学部講師)
 〃 森 雅秀 (〃)
 〃 生井 智紹 (文学部教授)
 〃 村上 保壽 (〃)
 〃 武内 孝善 (〃)
 〃 乾 仁志 (文学部助教授)
 〃 奥山 直司 (〃)
 〃 室寺 義仁 (〃)
 〃 南 昌宏 (文学部講師)
 〃 北原 裕全 (聖母女学院短期大学教授)
 専任研究員 星宮 智光 (相愛大学文学部助教授)
 委任研究員 山本 幸男 (早稲田大学文学部助教授)
 〃 大久保良峻 (東北大学言語文学部助教授)
 〃 山下 博司 (種智院大学仏教学部講師)
 〃 野口 圭也 (大正大学人間学部講師)
 〃 大塚 伸夫 (文学部教授)
 顧問 松長 有慶 (文学部教授)
 研究所課長補佐 甲田 博史
 主任 田寺 則彦
 三星みや子 (非常勤)

【教職員人事】
 ○退任 平成九年三月三十一日付
 生井 智紹 兼任研究所員

村上 保壽 兼任研究所員
 武内 孝善 兼任研究所員
 乾 仁志 兼任研究所員
 奥山 直司 兼任研究所員
 室寺 義仁 兼任研究所員
 南 昌宏 兼任研究所員
 北原 裕全 兼任研究所員
 松長 恵史 委任研究員

○就任 平成九年四月一日付
 生井 智紹 兼任研究所員
 村上 保壽 〃
 武内 孝善 〃
 乾 仁志 〃
 奥山 直司 〃
 室寺 義仁 〃
 南 昌宏 〃
 北原 裕全 委任研究員
 星宮 智光 委任研究員
 山本 幸男 〃
 山下 博司 〃
 野口 圭也 〃
 大塚 伸夫 〃

○異動 平成九年七月一日付
 堀畑 朝 教務課主任 (密教文化研究所課主任)

高野山大学密教文化研究所規程

(総則)

第一条 この規程は、高野山大学(以下「本学」という。)学則第三九条に基づき、密教文化研究所(以下「研究所」という。)の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

(目的)

第二条 この研究所は、真言密教の濫奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以て目的とする。

(事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

(研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
 - ② 総合研究部門
- 2 基礎研究部門においては、日本及びアジア地域における密教の基礎的研究並びに基礎資料の調査研究を行う。
- 3 総合研究部門においては、密教の思想と文化並びに関連領域に

(職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所員 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

(研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

- 2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。
- 3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を管理する。

(研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

- 2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。
- 3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。
- 4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。
- 5 専従研究所員の担当する授業時間数等については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。
- 6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。
- 7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

- 2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

ついて総合的な比較研究を行う。

報

- 3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。
- 4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。
- 5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。
- 6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱をすることがある。
- 7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。
- 8 受託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

- 第九条 研究所の事務は、研究所課がつかさどる。
- 2 研究所課に課長、専門員及びその他の事務職員を置く。
 - 3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。
 - 4 専門員は、研究所長及び研究所課長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分野の業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会を置く。

- 2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

- 2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則等の準用)

第二二条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関し必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規程の改廃)

第一三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

- 一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。
- 一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。
- 一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。
- 一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。
- 一 この規程は平成三年二月一八日より施行する。
- 一 この規程は平成三年四月一日より施行する。
- 一 この規程は平成五年四月一日より施行する。
- 一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。
- 一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より適用する。

『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。
- 第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。
- (1) 研究所長
 - (2) 専従研究所員
 - (3) 「紀要」編集担当者
- 2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所課長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。
- 第3条 編集委員会は研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。
- 第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。
- (1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。
 - (2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。
- 附則
- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
 - (2) 研究所員
 - (3) 研究員
 - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な改変・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会は、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行なわない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。
- 附則
- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

『密教文化研究所紀要』 査読委員会規程

(設置)

第1条 密教文化研究所(以下「研究所」という。)に、『密教文化研究所紀要』査読委員会(以下「査読委員会」という。)を設置する。

(目的)

第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。

(構成)

第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。

2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。

(任務)

第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。

2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。

(任期)

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

(改廃)

第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

執筆者紹介 (掲載順)

山陰 加春夫 密教文化研究所専従研究所員

(文学部教授)

武内 孝善 密教文化研究所兼任研究所員

(文学部教授)

佐藤 正伸 密教文化研究所専従研究所員

(文学部講師)

乾 仁志 密教文化研究所兼任研究所員

(文学部助教授)

森 雅秀 密教文化研究所専従研究所員

(文学部講師)

編集後記

『密教文化研究所紀要』第十一号をお届けいたします。今号には山陰加春夫・武内孝善・佐藤正伸・乾仁志・森雅秀各所員の論文を掲載しました。山陰所員の論文は前号より続くもので、今回で完結です。又、佐藤所員の論文は「『五輪投地次第』の作者について」(『密教学研究』二〇、一九八八年三月、七三―八四頁)に関連するものです。合わせて御覧下さい。

昭和五十九年創刊以来、本誌に関わる規程類の定めがないままでしたが、この程『密教文研究所紀要』編集委員会規程・同寄稿規程・同査統委員会規程の三種が制定・整備されました。これにより、更なる内容の充実が計られるものと期待されます。

(甲田記)

高野山大学密教文化研究所紀要 第十一号

平成十年一月二十一日 印刷
平成十年一月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 高木 紳元

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学
電話 (0735) 513350 ㊟ 6481200

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七-13-11
電話 (06) 5455716 ㊟ 5550003